



はくぶつかんの
おさかな
たち



はくぶつかんに、^{あたら}新しい仲間「リュウキュウメダカ」
がやってきたよ!! 自然のメダカは、^{かす}いまでは数が
とても少なくなってきたので、めずらしい「リュウ
ウキュウメダカ」を、みんなも見に来てね

はくぶつかんの
お花たち

テイキンザクラ

(別名: ナンヨウザクラ)



サクラの形に似ていますが、仲間ではあ
りません。色はほとんどが赤色です。
テイキン(提琴)とは、バイオリンのこ
とで、葉の形がバイオリンに似ていること
からこの名がつけました。

はくぶつかんきょうしつ 子ども博物館教室

夏休みに、自然と歴史を楽しく学ぼう!!

ということで、今年の子どもの博物館教室は、大山
田イモ畑など野外での「自然観察会」と、人類の骨
の進化をテーマにした展示会の「解説教室」を
行いました。来年もみんなの参加まっています



もっと知りたい!!
という人は、11月からスタート
する特別展にきてね

くわしくはP-5を見てね



ふんてんまさんけい 【普天間参詣】

1644年、琉球国王は毎年旧暦の9月(今の10~11月頃)に、普天満宮へお参りをはじめま
した。これを「普天間参詣」といいます。参詣は、首里から普天満宮までの長い道のりを100名ほ
どの家来を引き連れ行われていました。なぜ、お参りを始めたかという、9月が災いの多い月だ
ったため、神にみなが幸せに暮らせるよう祈るためといわれていたり、薩摩の人たちに、神を信じてい
ることを示すためだと言われていました。その後、お参りは庶民にも広がっていきました。

ジノーンナンマチ 【宜野湾並松】

宜野湾には、かつて「宜野湾並松(ジノーンナンマチ)」といわれる、国の天然記念物にも指定
された、美しい松並木が嘉数から普天満宮までの道にありました。普天間参詣の際に、ナンマチ
を通ったと言われていました。



みんなは、「^{もり}森の川」や「^{ふてんまんぐう}普天満宮」を知っていますか？ この2つは^{ぶんかざい}文化財といって、わたしたちの祖先が^{のこ}残してくれた、^{ぶんか}文化・^{れきし}歴史のつまった、とても大切な^{たいせつ}財産なんです。^{むすなわ}沖縄戦で、わたしたちは多くの文化財を^{うしな}失いましたが、いまでも^{きののわん}宜野湾市には、^{まいぞう}埋蔵文化財などが300件余りあります。

^{ずがさくひんてん}図画作品展では、^{きののわん}宜野湾の文化財をテーマに、^{しょう}小・^{ちゅうがくせい}中学生のみんなの^{えが}絵が展示されているので、作品展をみて、どんな文化財があるのか、文化財の大切さを^{かん}感じてくれたらと思います。ぜひ、^{あそび}遊びに来てくださいね。

第20回 きのわんの 文化財図画作品展

教育長賞
3作品



「普天間きょうゆう会
ししまい」

小学校中学年の部
なかち こなん
仲地 瑚南
(普天間小・3年)



「森の川の泉」

小学校高学年の部
まえもり みう
前森 美海 (大山小・5年)



「喜友名の泉」

中学校の部
くによし なな
国吉 奈菜
(琉大附属中・2年)

みにきてね♪



日にち：10月1日(土)

～10月16日(日)

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：火曜日・祝祭日

- ・小学校中学年の部(3・4年生) ・中学生の部
 - ・小学校高学年の部(5・6年生)
- 各部門からそれぞれ、教育長賞・金賞・銀賞・銅賞
入賞作品を展示します。

移動展のお知らせ

土日は休み

日にち：10月19日(水)～11月4日(金)

場所：宜野湾市役所 1階ロビー

午前8時30分～午後5時15分

移動展は、教育長賞・金賞のみの展示です。



普天間参詣のジオラマ(後ろに見えるのは宜野湾並松) : 宜野湾市立博物館



学芸員 実習生

5★人衆がゆく

8月17日(水)～29日(月)までの2週間、琉球大学と沖縄国際大学の学芸員実習生5名を受け入れました。実習初日、“わらばー体験じゅく”の一環でターンム畑の下見に行き泥だらけになるという、他の博物館では実習できないような内容もあり、実習生にとっては有意義な2週間になったのではないかと思います。5名とも博物館の活動に一生懸命取り組んでいて、いつか皆さんと一緒に働ける日がきたら嬉しいなと思っている次第です。さて、実習生5名に実習を終えての感想を頂きましたので紹介します

津曲 希昌さん

博物館は、人と人とのふれあいの場であり、今と昔をつなぐ場であり、子どもたちを育てる場でもあると感じました。学問というイメージの強かった博物館でしたが、今では気軽に行けて、楽しく学べる場所だと感じました。

玉那覇 有登さん

博物館という場所は、学問の場所なので研究がメインだと思っていたのですが、アリ退治や片付け(展示会)など力作業もあり、肉体的な仕事だということが今回わかりました。学芸員になった時はこの12日間の事を思い出してガンバリたいと思います。

矢野 広大さん

学芸員とは多くの知識を必要とする資格であると思っていましたが、展示物の準備や片付け、そしてフィールドワークと体力も必要であると感じました。知識だけでなく、五感全てを器用に使いこなせる人間をめざして、今後も頑張ります。

山下 あるなさん

普段の授業で「館」の仕事を知っていたけれど、やっぱり聞くのと実際に体験するのでは全然違うと思った。やらないと分からない細かい仕事がかかって楽しかったです。

當眞 里奈さん

学芸員の資格を取るために勉強してきましたが、これほど楽しい実習はありませんでした。怒涛の12日間でしたが、学芸員として大切なことは何か？を学ぶ素晴らしい機会となりました。本当にありがとうございました。



ターンム畑



館長の講義を聞く



子どもとのふれあい



実習生の皆さん、12日間お疲れ様でした！